

輝 ねむろ

We Love Nemuro!



この手で何を変えるか見極めたい



家族一人ひとりの力が支えに

「すぐ横に風蓮湖。すばらしい環境の中で仕事ができることがうれしいですね。」と、笑顔を見せるのは、昨年1月に根室市に移り酪農経営を始めた横峯庸さんです。

アメリカの大学で森林生態学を学んだ横峯さんは、下川町の森林組合での実習を経た後、興部町で初めて酪農を経験しました。酪農の魅力と厳しさの両方を感じながら、家族とともに自然と繋がりがながら生産性を求めることへの楽しさを追求しようと、新規就農を目指し足寄町の酪農家へ1年間の実習に入り、家族とともに就農への準備を進めました。そこで、実習先の経営

者が、根室で離農する人と知り合いということから話しが進み、根室を出発の地とすることを決断しました。

「就農してからも多くの方々にお世話になりました。支えてくれた人たちのためにも、経営を落ち着かせることが一番の恩返しと考えています。」と当面の目標とともに、自分なりの経営手法を試し、それで何が変わっていくかを見極めたいと話します。

横峯さんは、根室の印象を「穏やかで優しいまち」と語りながら、子どもたちがこの大自然の中で働く親の姿から、多くのことを学んでほしいと目を細めます。

profile **よこ** **みね** **やすし**
横 **峯** **庸** さん
根室市川口

1981年鹿児島県志布志町生まれ。高校を卒業後、アメリカオレゴン州立チェメケタコミュニティカレッジで森林生態学を学ぶ。妻と子ども2人の4人暮らし。趣味は山登りとサイクリング。

千島桜を望む窓

市長室のカレンダー



1月7日、新年恒例の行事「消防出初式」が、温水プール前駐車場で行われました。

当日は、冷たい風が吹く中での開催となりましたが、会場には市消防本部と団員213人が整然と並び、緊急車両11台が背後に控えました。

式典にあたり長谷川市長は、「昨年の東日本大震災を教訓に、消防・防災対策の強化を図り、今後も安心・安全なまちづくりを万全を期していく。」とあいさつをした後、加藤消防長と高橋消防団長とともに観閲を行い、団員を激励しました。

分団ごとに団旗を掲げ行進する分列行進では、長谷川市長が力強く交わす敬礼に、団員一人ひとりが新たな気持ちで、防災活動への決意を固めていく姿を見ることができました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、数々の教訓を残しました。その教訓を生かし、これからも市民の安全を守るため、災害に強いまちづくりに努めていくことを改めて誓う出初式となりました。